住宅着工7月激減

改正建築基準法が影響

国交省は一時的との見方

国土交通省が八月三十一日発表した七月の建築着工統計調査報告によると、同月の新設住宅着工戸数は、前年同月比二三・四％減と平成九年十一月以来約十年ぶりの大幅減少となったが、同省では「これは主として改正建築基準法の施行（六月二十日）という制度変更に伴う手続き上の要因によるもので、その影響は一時的のもの」との見方を示している。

▼総戸数　八万千七百十四戸で前年同月比二三・四％減と、前月の増加から再び減少となった。季節調整済年率換算値は九十四万七千戸（前年同月百二十三万七千戸）で、四十年ぶりの低さ。

▼利用関係別　持家は二万四千九十三戸で、前年同月比二六・〇％減と、六カ月連続の減少となった。このうち、民間資金による持家は二万二千百七十七戸で、同二五・一％減（六カ月連続の減少）、公的資金による持家は千九百十六戸で、同三五・四％減（二十カ月連続の減少）。貸家は三万四千七百六十三戸で、同二五・三％減と、前月の増加から再び減少となった。このうち、民間資金による貸家は三万千五百九十一戸で、同三三・四％減（前月の増加から再び減少）、公的資金による貸家は三千百七十二戸で、同四〇・〇％減（前月の増加から再び減少）。分譲住宅は二万千二百四十三戸で、同二〇・六％減と、前月の増加から再び減少となった。

分譲住宅のうちマンションは一万二千百六十五戸で、同一七・〇％減と、前月の増加から再び減少。地域別のマンション着工戸数は、首都圏が六千三百八戸（前年同月比九・三％減）、中部圏が八百四十七戸（同四〇・五％増）、近畿圏が二千二百一戸（同二六・四％減）、その他の地域が二千八百九戸（同三一・七％減）。

また、一戸建分譲住宅は八千九百四十八戸で、前年同月比二四・六％減と、三カ月連続の減少となった。

▼資金別　民間資金住宅は七万四千六百六十六戸で、前年同月比二〇・六％減と、前月の増加から再び減少となった。ツーバイフォーは六千八百二戸で、同二二・〇％減と四カ月連続の減少。

▼三大都市圏・その他の地域別　前年同月比でみると、総戸数は、首都圏が二二・八％減、中部圏が八・四％減、近畿圏が二八・五％減、その他地域が二六・六％減と全ての地域で減少となった。利用関係別では、持家は、首都圏二五・七％減、中部圏一二・七％減、近畿圏四〇・二％減、その他地域二六・三％減、貸家は、首都圏二五・二％減、近畿圏一七・四％減、その他地域二八・一％減、分譲住宅は、首都圏一五・三％減、中部圏一・五％増、近畿圏三二・四％減、その他地域二六・三％減となった。

▼都道府県別　前年同月比で増加は岐阜（四七・三％増）、静岡（一六・五％増）などわずか五県で、残りの四十二都道府県は減少となった。このうち大幅に減少したのは沖縄（六一・〇％減）、三重（五二・〇％減）を超す減少となった。

▼構造別　木造は三万七千六百九戸で、前年同月比二三・〇％減、非木造は四万四千百五戸で、同二三・七％減となった。非木造の内訳は、鉄骨鉄筋コンクリート造が千十五戸（前年同月比六四・二％減）、鉄筋コンクリート造が二万八千十二戸（同二二・二％減）、鉄骨造が一万四千九百六十戸（同二〇・六％減）、コンクリートブロック造が三十二戸（同二五・六％減）、その他が八十六戸（同二五・二％減）。

▼建築工法別　プレハブが一万九百八十八戸で、前年同月比二〇・六％減と、前月の増加から再び減少となった。

住宅は28.9％減

7月の大手50社受注

国土交通省が八月三十一日発表した七月の建設工事受注動態統計調査（大手五十社調査）によると、同月の建設受注総額は八千百二十一億円で、前年同月比一〇・四％減と、四カ月ぶりの減少となった。うち国内分は七千六百七十五億円で、同四・五％減（四カ月ぶりの減少）。

国内の民間、公共別では、民間工事は六千百十一億円で、同六・七％減（十カ月ぶりの減少）、公共は千六十一億円で、同一・六％減（二カ月連続の減少）となった。

受注総額のうち建築は五千八百七十一億円で、前年同月比四・九％減（うち国内分は五千四百三十九億円で、同一〇・〇％減、海外分は四百三十二億円で、同三三五・五％増）。

国内の建築のうち住宅は千十億円で、同二八・九％減となった。

新設住宅着工都道府県別
（平成19年7月分）

	戸数の合計	対前年同月比
	戸	%
総数	81,714	△ 23.4
北海道	3,883	△ 28.8
青森	594	△ 24.5
岩手	521	△ 41.4
宮城	1,836	△ 6.2
秋田	503	△ 25.7
山形	644	8.4
福島	960	△ 11.4
茨城	2,176	△ 11.9
栃木	948	△ 48.3
群馬	1,029	△ 33.8
埼玉	3,515	△ 41.3
千葉	4,562	△ 15.7
東京	10,013	△ 31.8
神奈川	8,982	0.1
新潟	1,498	△ 31.1
富山	731	△ 15.9
石川	488	△ 38.6
福井	316	△ 30.1
山梨	375	△ 30.0
長野	1,328	△ 10.9
岐阜	2,207	47.3
静岡	3,696	16.5
愛知	5,265	△ 17.5
三重	900	△ 57.5
滋賀	863	△ 47.5
京都	1,107	△ 46.1
大阪	5,295	△ 18.2
兵庫	3,533	△ 21.9
奈良	460	△ 52.7
和歌山	427	△ 35.5
鳥取	272	△ 43.9
島根	163	△ 50.3
岡山	929	△ 36.4
広島	1,708	△ 16.9
山口	838	△ 10.9
徳島	257	△ 33.1
香川	674	△ 24.0
愛媛	695	△ 24.0
高知	205	△ 30.5
福岡	2,811	△ 21.8
佐賀	275	△ 48.7
長崎	599	△ 8.8
熊本	980	△ 36.8
大分	775	6.3
宮崎	518	△ 3.9
鹿児島	679	△ 50.3
沖縄	681	△ 61.0

ビドーニュース　2007年　10月号　発行：株式会社　ナガノ
大阪市東成区大今里西 1-25-4　TEL：（06）6972－3824（代）
メール：info@bidoor.co.jp　WEB：http://www.bidoor.co.jp/